



クレアンとマッキン・ワールドグループが

次世代型 CSR の導入と企業のレピュテーション向上のための

コンサルティング・サービス「レピュテーション・マネジメント 2.0」の提供を開始

株式会社クレアン（代表取締役：園田綾子、本社：東京都港区）は、（株）マッキン・ワールドグループホールディングス（代表取締役社長兼 CEO：片木康行、本社：東京都港区）と、企業がより社会価値の高い活動に着手する次世代型 CSR 活動の導入支援を中核とし、企業のレピュテーション（評価・評判）を高めるコンサルティング・サービス「レピュテーション・マネジメント 2.0」の提供を開始しました。

このサービスは、米ハーバード大学のマイケル・ポーター教授らが提唱する、事業活動を通じて社会課題の解決と企業の利益・競争力向上を両立させ、社会と企業の持続的発展につなげる「CSV」※²（Creating Shared Value：共通価値の創造）の経営導入および、CSR 活動を企業のレピュテーション向上に繋げるための戦略立案と実行支援を行うものです。企業がを行っている、またはこれから行おうとする活動を「CSV 視点」で評価し、より社会価値の高い活動とするとともに、ステークホルダーとの関係性を強化するレピュテーションの構築支援を一体的に行います。

最近のソーシャルメディアの発達、事業のグローバル化やサプライチェーンの拡大、CSR 情報開示の進展※³、CSR の要素を加味した格付や株式投資指数の登場などにより、企業はこれまで以上に透明性のある情報開示と、さまざまな利害を持つステークホルダーとの対話と協働が求められています。

このような中、企業が持続的に発展するためには、企業を取り巻く様々なステークホルダーとの多面的な関係性を考慮すること、そして社会的に責任ある企業活動の実践だけでなく、事業をより良い社会づくりに向けた「社会価値の創造活動」という視点から捉え直した包括的な事業戦略とコミュニケーションの戦略が不可欠となります。

「レピュテーション・マネジメント 2.0」では、CSR およびレピュテーション向上のための戦略プランニングを、「CSR の活動実態評価」「レピュテーションの現状」「ステークホルダーとの関係性」「企業の経営資源」等の分析を競合も含め実施し策定します。また戦略を実現するために必要となる具体的な CSR 活動プログラムやステークホルダー向けコミュニケーション計画までを一気通貫で提案します。

数多くの企業の CSR 活動と CSV の導入をリードしている（株）クレアンのコンサルティング機能と、企業コミュニケーションの専門家であるマッキン・ワールドグループの機能をシームレスに融合することで、これまでになく、企業価値の向上に寄与する、次世代型の CSR 活動を提供することが可能となりました。

「レピュテーション・マネジメント 2.0」サービスの特徴

- 社会と企業の持続的発展につなげる「CSV」の経営導入を推進。
- 企業のレピュテーション向上に繋げるための戦略立案と実行を支援。
- 具体的な活動プランやコミュニケーション・アイデアまでのトータルなソリューションを提供。
- マッキン・ワールドグループのグローバルネットワークを活用し、海外展開の支援も可能。国内はもとより、新興国や発展途上国の事業展開で注目されている「ステークホルダーとの共通価値」に基づく活動推進とコミュニケーション展開も可能。

※1 CSR： Corporate Social Responsibility（企業の社会的責任）の略。地球規模の経済活動拡大により、資源・環境問題や貧困・格差等の様々な社会課題が発生し、公的機関による課題対応能力の限界が指摘される中、それらの課題解決に企業が主体的に貢献することを求める社会要請のこと。企業のサプライチェーンや経済活動がグローバルに拡大する中、様々なステークホルダーとの対話を通じて社会課題への対応を行う CSR 活動は、環境汚染や人権侵害や地域コミュニティとの係争等の経営リスクの低減だけでなく、社員の働きがいや誇りの創出、ステークホルダーとの信頼構築、発展途上国や新興国市場における新たな事業機会への対応など、企業の持続的発展と密接に結び付いている。

※2 CSV： Creating Shared Value（共通価値の創造）の略。米ハーバード大学のマイケル・ポーター教授が提唱した、事業活動を通じて社会課題の解決と企業の利益・競争力向上を両立させ、社会と企業の両方に価値を生み出すための新しい経営フレームワークのこと。

※3： 国連環境計画 UNEP の公認協力機関である GRI（Global Reporting Initiative）が企業の CSR 活動の情報開示に関するグローバル・デファクトスタンダード・ガイドライン（GRI ガイドライン）を発行しており、企業による利用が進んでいる。

GRI ウェブサイト：<https://www.globalreporting.org/>

添付資料

- ① （株）クレアン概要
- ② （株）マッキン・ワールドグループホールディングス概要



「株式会社 クレアンについて」

本社所在地：〒108-0071 東京都港区白金台 3 丁目 19-6 白金台ビル 5 階

代表者：代表取締役 園田綾子

資本金：2,000 万円

設立月日：1988 年 8 月

<http://www.cre-en.jp/>

株式会社クレアン（Cre-en ,Inc）は、CSR や CSV に関わるコンサルティングサービスを提供する、日本でも数少ない CSR/CSV 専門のコンサルティングファームです。企業の本業を通じた社会価値の創造とステークホルダーとの信頼関係の構築を支援することを通じて、クライアント企業の持続的成長とサステナブルな社会の実現に貢献することをミッションとしています。日本の CSR の草創期である 2003 年以前から最大手の企業を中心に CSR の推進を支援しており、これまでのコンサルティング実績は延べ 600 件を超えます。2007 年には国連グローバル・コンパクトに署名すると共に、現在は米ハーバード大学マイケル・ポーター教授らが提唱する「CSV（Creating Shared Value）」に基づく企業コンサルティングにも注力しています。



「株式会社マッキン・ワールドグループホールディングスについて」

本社所在地：〒107-8679 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館

代表者：代表取締役社長兼 CEO 片木康行

資本金：497,388,000 円

設立月日：1960 年 12 月 16 日

<http://www.mccannwg.co.jp>

(株)マッキン・ワールドグループホールディングス(McCann Worldgroup Japan Holdings Inc.)は、米国ニューヨーク本社を拠点に、世界 125 カ国で活動する世界有数のマーケティング・コミュニケーションズ・グループの日本法人です。傘下に複数の専門会社を擁し、クライアントに統合されたマーケティングソリューションを提供しています。クライアントのブランドに変革をもたらすことにより、クライアントのビジネスを成長させることを使命としています。グループ子会社として(株)マッキンエリクソン、(株)マッキンヘルスケアワールドワイドジャパン、(株)エムアールエム・ワールドワイド、(株)モメンタムジャパン、(株)クラフトワールドワイド。関連会社にはウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド(株)等がある。